

# 始良市衛生協会だより

## 小学生親子がエコクッキングに挑戦。食品ロス削減について学ぶ

8月9日（水）、始良保健センターにて親子エコクッキング教室を開催しました。これは食品ロス削減の実践を通じて、子どもや子育て世代の環境問題に対する理解と関心を深めるとともに、ごみ減量や環境保全活動を行う意欲を高めるために実施したもので、小学1年生から6年生までの児童とその保護者8組16名が参加しました。

当日は、まず、始良市生活学校の西迫雅子さんの食品ロス削減に関するお話を聞きながら、“もったいない生ごみ”について学びました。

参加者は日頃の生活の中で、買い過ぎや作り過ぎ、食べ残しなどによって、本来は食べられたはずの食品が大量に捨てられている現実について、再認識するとともに問題意識を持つことができました。



【食品ロス削減について学ぶ参加者】



教室で配られた  
ステッカー

次に始良市食生活改善推進員協議会の古城り子さんの指導でエコクッキングの実践に挑戦しました。ひき肉の万能炒めを作り、ドライカレーにアレンジした他、野菜をたっぷり利用したミネストローネ、余ったバナナをペースト状にして冷凍保存する工夫やそれを利用したバナナブレッドを作りました。



【エコクッキングを楽しむ参加者】

教室の最後には、作った料理を試食しながら、協会が製作した“ごみ減量啓発動画”を視聴し、ごみ減量についても学びました。

### ◆ 参加した保護者の感想 ◆

- ・食品ロス削減のステッカーを目立つ場所に貼り、常に意識できるようにしたい。
- ・万能ひき肉炒めは調味料を変えるだけでバリエーションが楽しめそうなので早速試したい。
- ・冷蔵庫チェックをして、買い物のタイミングを考えてみたい。
- ・残さず使い切ることを考えながら買い物をしたい。

### ◆ 参加した児童の感想 ◆

- ・じゃがいもの皮チップスがおいしくてびっくりした。
- ・野菜を切ったり、炒めたりするのが楽しかった。
- ・食品ロスを学んだので好き嫌いをなくしたい。
- ・食べ残しをしないようにしたい。
- ・ごみ分別の手伝いをしたい。





## あいらEM自然の里が【環境教育と水のゆくえ-プールに活性液投入】を提案

平成26年度から始まった各種環境改善活動団体事業補助金制度ですが、これまでに延べ4つの団体が活用して成果を上げてきました。今年度は、あいらEM自然の里が提案した「環境教育と水のゆくえ-プールに活性液投入」の事業に活用され、活動が展開されています。

これは、EM活性液を冬季の学校プールに投入し、微生物などを最大限増殖した後にプール掃除時に放水

することで、河川や海の水質を改善しようとするもので、別府川流域に関係のある6つの小学校で実施されています。

また、活性液の投入は、私たちの生活に欠かせない水が環境の中で循環していることや排水が河川や海の水質に大きく関わっていることなど、環境教育の講話を交えながら、教師や子どもたちと一緒に行われています。



【EM活性液を投入する子どもたち】



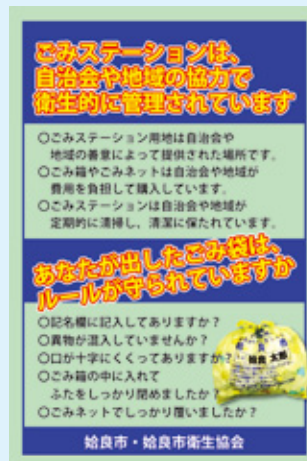
## 可燃ごみステーションの適正利用についての啓発を強化

近年、可燃ごみの排出ルールを守らないでごみステーションを利用する人が増えています。

缶類やびん類、不燃物、多量の紙類などの異物が混入した指定ごみ袋、指定袋以外の袋、粗大ごみ、処理困難物などをそのまま可燃ごみステーションに放置するケースもあります。

可燃ごみステーション用地は、自治会や地域の方の善意で提供された場所です。また、ごみ箱やネットなどの飛散防止対策も自治会や地域が経費を負担しています。さらには、衛生的に使用できるように残されたごみの後始末や清掃などの管理も日々継続的に行われています。

各利用者が責任を持ってごみを出したり、衛生的な管理に協力することは当然のことです。指定ごみ袋には、記名して、自分の出すごみに責任をもちましょう。



【啓発用の表示板】

このような表示板を可燃ごみステーションに掲出しています。利用者は、可燃ごみの排出ルールを再確認してください。また、役員や当番の方々が可燃ごみステーションにて、排出ルールを指導する際には、具体的なルールが表示してありますので、利用者への説明に活用してください。



## ごみステーション用金属製ボックス及びネットの購入費用の一部を助成しています

市民の皆さんのご家庭から排出されるごみの飛散防止及び鳥獣被害による散乱防止を図るため、地区公民館や自治会でごみステーション用金属製ボックスまたはごみステーション用ネットを購入した場合、協会が、その費用の一部を助成しています。

金属製ボックスは高額で、自治会の負担も大きい

ため、購入する際は、年次的に予算を確保するなど、各自治会で工夫されているようです。

この助成事業は、来年度以降も継続する予定ですので、計画的に予算化することをお勧めします。

○金属製ボックス：費用の3分の1（上限3万円）

○ネット：費用の3分の1（上限3千円）

問合せ先 衛生協会事務局

◆市役所本庁 生活環境課 生活環境係 TEL66-3189